

Technical Information

水溶液型銀系抗菌剤・抗ウイルス加工剤

AG アルファ®CF-01

水系無機バインダーへの AG アルファ®CF-01 配合処方例

およびガラス表面加工例

1. 概要

- ・ AG アルファ®を配合した水系無機バインダーは、ガラス基材に表面加工することでガラス表面に抗菌性効果を付与することが可能です。
- ・ さらに加工表面は、水に触れた後でも抗菌性効果を維持することが可能です。

2. 処方例

	製品名	内容	固形分	配合例
バインダー	クリンファースト®MT (東曹産業製)	水系無機バインダー (シリカ系)	4.5%	100.00 g
抗菌剤	AG アルファ®CF-01 (MGC ウッドケム)	水溶性銀錯体	14.30% (Ag ⁺ 2.50%)	0.045 g
合計				100.45 g
バインダー固形分				4.5%
抗菌剤 (wet) 濃度				0.045%
抗菌剤 (wet) /バインダー固形分				1.0%
銀濃度/バインダー固形分				0.0250%

3. 加工条件

基材：ガラス板（ソーダ石灰ガラス）

塗布量：バーコート 10 g/m²（バーコーターNo.5（膜厚 10 μm）にて塗工）

乾燥温度：60°C/5分→120°C/5分

4. 耐水性試験条件

- ・ 一般社団法人抗菌製品技術協議会（SIAA）で定める耐水性試験ガイドラインに則って実施。
- ・ 耐水性区分 0：耐水性試験実施せず
- ・ 耐水性区分 1：常温の純粋に 16~18 時間含浸
- ・ 耐水性区分 2：50°Cの純粋に 16~18 時間含浸

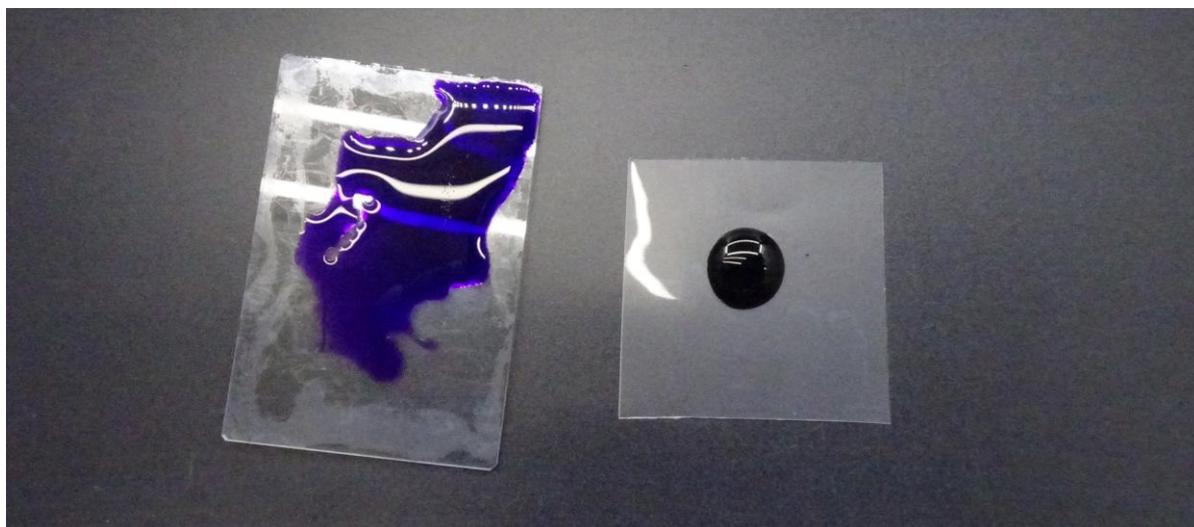
5. 抗菌性試験結果

サンプル名	耐水性試験（前処理）※1	生菌対数値	抗菌性（抗菌活性値）※3
クリンファースト®MT	耐水性区分 0	5.67	—
	耐水性区分 1	5.58	—
	耐水性区分 2	4.71	—
AG アルファ®配合	耐水性区分 0	-0.20※2	≧ 5.9
	耐水性区分 1	-0.20※2	≧ 5.8
クリンファースト®MT	耐水性区分 2	1.27	3.4

- ・ 試験内容：JIS Z 2801（フィルム密着法）に準拠。菌種：黄色ブドウ球菌
- ・ ※1 各種条件により耐水性試験（前処理）実施後に抗菌性試験を実施。
- ・ ※2 生菌数が検出限界未満。
- ・ ※3 判定：抗菌活性値 2.0 以上で抗菌性効果あり

6. 親水性 (写真)

使用した水系無機バインダーは親水性があります。AG アルファを配合しても変わらず親水性を維持しています。(下図参照。)



図、表面加工塗膜の親水性観察 (左) AG アルファ配合グリンファーストMT、(右) PP シート

以上

※ 製品に関するお問い合わせ先

化成品東京営業グループ Tel. 03-6285-2817 Fax. 03-6285-2818
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビル 8F

化成品大阪営業グループ Tel. 06-6441-2414 Fax. 06-6441-4511
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-9-1 肥後橋センタービル 14F

HOME PAGE : <https://www.mgcwoodchem.com/>